

2020年7月8日

トヨタモビリティ東京株式会社交通事故低減に向け「踏み間違い加速抑制システム」の設置を推進

トヨタモビリティ東京株式会社（社長 片山守）は、高齢ドライバーの安心・安全につながる取り組みの一環として「踏み間違い加速抑制システム（※1）」の設置推進を強化する。

2019年、高齢ドライバーによる、アクセルとブレーキの踏み間違いに起因すると思われる交通事故が大きな社会問題となった。当社はその直後に都内各地の警察署と連携し、高齢ドライバーに「インテリジェントクリランスソナー（※2）」や「踏み間違い加速抑制システム」など最新の安全運転支援装置を体験いただき、その有効性を訴える啓発活動を、千住警察を皮切りに都内約70ヶ所で開催してきた。

そんな中、東京都が、都内在住で70歳以上の高齢ドライバーが自家用車に「踏み間違い加速抑制システム」を含む安全運転支援装置を設置した場合、1台につき10万円を限度としてその費用の9割を補助する制度「東京都高齢者安全運転支援装置設置促進事業補助金」を全国に先駆けて開始。

当社は同システム発売当初から対象車両への設置を強く推し進めており、補助金制度を活用し、これまでに約9,000台（2020年6月末現在）の車両に設置してきた。

この度、同システム設置推進活動が認められ、東京都 都民安全推進本部長より事業促進への協力に対する感謝の言葉と、更なる協力要請をいただいた。

これからも当社は「安全なクルマ社会のためにできることは全部やる」という信念のもと、最新の安全運転支援装置付き自動車および「踏み間違い加速抑制システム」の設置を更に推進しながら、全社を挙げて高齢者の交通事故低減に取り組んでまいります。

※1 トヨタ自動車の純正用品で、ブレーキとアクセルを踏み間違えたときや、バックでアクセルを踏み込み過ぎたときに加速を抑制するシステム。設置可能な車種は当社HPでご確認ください。

※2 トヨタ自動車の安全運転支援装置【パーキングサポートブレーキ（静止物）】。前後のソナーで障害物を感知。障害物との衝突を避けることを最優先にドライバーがアクセルを踏んでもブレーキを自動でかける安全装置。

以上

トヨタ モビリティ東京株式会社<https://www.toyota-mobi-tokyo.co.jp>

ご取材の問い合わせ：CSR推進部広報グループ 中川

TEL 03-5439-2430 FAX 03-5439-8244